

市民参加懇談会の活動について

平成 15 年 3 月 15 日
原子力委員会
市民参加懇談会

1. 設置の趣旨

原子力政策は、国民・社会との関係を重視し、国民の信頼、立地地域との共生などを大前提として進めなければなりません。現在、原子力政策を取り巻く状況は厳しさを増しています。そこで、原子力政策の策定プロセスにおける市民参加の拡大を図り、国民との信頼関係を確立するための方策を検討するために、市民参加懇談会を設置しました。(詳細は、別添 - 1「市民参加懇談会について - 活動の目的と内容 - 」をご覧ください。)

2. これまでの活動

(1) 「市民参加懇談会」コアメンバー会議による企画・検討

「市民参加懇談会」コアメンバー会議は、学識経験者、ジャーナリスト、オピニオンリーダー等、多様な立場の方々をメンバーとしており(別添 - 2 をご覧ください。)地域での懇談会をどのように開催していくか、といったことをはじめ、原子力政策策定への市民参加の拡大を目指して、さまざまな方策について企画・検討しています。

(2) 地域での懇談会開催

市民参加懇談会 in かりわ(平成 14 年 1 月 15 日開催)

「わたし達がエネルギーを大切に使うためには、どういう暮らし方がいいか。」
「エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか。」
「いま、原子力発電に求められるものは何か。」をテーマに、開催しました。刈羽村の方を中心に約 100 名の参加があり、原子力やプルサーマルについて、また、国・事業者や住民の姿勢について、多様な意見が出されました。

- ・ 開催にあたっては、刈羽村の有志の方々と何度も意見交換を重ね、開催日やテーマ、発言者等について決めていきました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 7 月 24 日開催）

「日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか。」「原子力発電は必要か、あるいは不要か。」「原子力政策決定過程と市民とのかかわり」をテーマに開催しました。約 110 名の参加があり、各界のエネルギーについての意識、原子力に関する意見、原子力委員会や市民参加懇談会への期待など、多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 東京（平成 14 年 11 月 19 日）

「知りたい情報は、届いているのか」 - 東京電力の不正記載を契機として - をテーマに開催しました。約 180 名の参加があり、情報公開、国や企業などの姿勢について多様な意見が出されました。

市民参加懇談会 in 青森（平成 15 年 3 月 15 日 今回の開催）

コアメンバー会議（第 7 回：平成 15 年 1 月 21 日）において、複数のメンバーより、核燃料サイクルを含めた日本の原子力に関する最近のさまざまな状況に対して、in 東京と同様「知りたい情報は届いていますか」というテーマに開催してはどうかとの意見が出され、本日、開催の運びとなりました。

市民参加懇談会について
- 活動の目的と内容のご説明 -

原子力委員会
市民参加懇談会

原子力委員会は、原子力基本法において、設置することが定められています。その目的は、原子力の研究、開発及び利用に関する国の施策を計画的に遂行するとともに、原子力行政の民主的な運営を図ることにあります。また、原子力委員会は、原子力の研究、開発及び利用に関する事項について企画し、審議し、及び決定することが任務として定められています。これに基づき、「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」も策定されています。

1. 市民参加懇談会設置の趣旨

「原子力の研究、開発及び利用に関する長期計画」（平成12年11月24日原子力委員会決定）では、原子力政策は、国民・社会との関係をこれまで以上に重視し、国民の信頼、立地地域との共生などを大前提として進めていかなければならないことを指摘しています。

しかしながら、同計画決定後に、原子力政策を取り巻く状況は一層厳しさを増しており、あらためて、国民・社会との信頼関係を再構築するための努力が強く求められています。

そこで、原子力政策の策定プロセスにおける市民参加の拡大を図り、原子力政策に対する国民との信頼関係を確立するための方策を検討します。このような目的を果たすために、市民参加懇談会を設置しました。

2. 各々の活動の目的と内容

(1) 「市民参加懇談会」コアメンバー会議

学識経験者、ジャーナリスト、オピニオンリーダー等、多様な立場の方々から選定された専門委員をメンバーとした、『「市民参加懇談会」コアメンバー会議』を設置します。会議においては、地域での懇談会をどのように開催していくか、といったことをはじめ、原子力政策策定への市民参加の拡大を目指した、さまざまな方策について企画・検討していきます。

(2) 地域での懇談会開催

原子力政策における合意形成のあり方の一つとして、政策の策定プロセスや原子力行政について、直接市民の方々のご意見をうかがい（広聴）、それを政策策定の場に直接報告していくこと（フィードバック）、さらにこれらを繰り返していくことが重要であるとの認識の下、「市民との懇談会」を開催していきます。

懇談会の開催にあたっては、広く市民の方々からご意見をうかがう「広聴」を目的とし、会の開催日、会場、進行の仕方、テーマ、参加者等についても、開催地域の方々と共にアイデアを出し合い、ご相談しながら進めていきたいと考えています。

また、懇談会は、できるだけ多くの方々の「ご意見をうかがう場」であり、コアメンバーは、市民の方々からのご意見・ご提言に耳を傾け、適切な判断によって、その結果を原子力委員会に報告・提案いたします。

「市民参加懇談会」コアメンバー会議構成員

木元	教子	(きもと のりこ)	主任原子力委員
森嶋	昭夫	(もりしま あきお)	主任補佐原子力委員
碧海	酉癸	(あおみ ゆき)	消費生活アドバイザー
井上	チイ子	(いのうえ ちいこ)	生活情報評論家(NPO法人 暮らし、環境、エネルギーネット理事長)
小川	順子	(おがわ じゅんこ)	WIN - J a p a n 会長
小沢	遼子	(おざわ りょうこ)	社会評論家
加藤	秀樹	(かとう ひでき)	構想日本代表
吉川	肇子	(きっかわ としこ)	慶應義塾大学商学部助教授
高木	美也子	(たかぎ みやこ)	日本大学総合科学研究所教授
露木	茂	(つゆき しげる)	東京国際大学国際関係学部教授、テレビキャスター
中村	浩美	(なかむら ひろみ)	科学ジャーナリスト
松田	美夜子	(まつだ みやこ)	生活環境評論家(廃棄物とリサイクル)
宮崎	緑	(みやざき みどり)	千葉商科大学政策情報学部助教授
吉岡	斉	(よしおか ひとし)	九州大学大学院比較社会文化研究院教授

市民参加懇談会のこれまでの活動

平成13年

7月 3日 市民参加懇談会を設置

9月20日 第1回企画メンバー会合開催

- ・市民参加懇談会の今後の運営について
- ・市民参加懇談会の平成13年度の活動のポイント

10月29日 第2回企画メンバー会合開催

- ・原子力政策における「対話・懇談の場」の意義について
- ・地域における「対話・懇談の場」について

11月18日および12月13日 木元座長、事務局が刈羽村を訪問

- ・刈羽村・市民参加懇談会「対話・懇談の場」事前打ち合わせ

平成14年

1月15日 「市民参加懇談会 in かりわ」開催 於：刈羽村老人福祉センター

- ・わたし達は今後、どういう暮らし方を選択するのか
- ・エネルギー供給のあり方は、どうあったらよいか
- ・いま、原子力発電に求められるものは何か

2月 1日 「市民参加懇談会 in 柏崎」(仮称)の趣旨説明会を柏崎にて開催

2月12日 第3回企画メンバー会合開催

- ・「市民参加懇談会 in かりわ」の結果について
- ・市民参加懇談会の果たすべき役割について(再確認)
- ・今後の地方開催のあり方について

3月29日 木元座長、碧海委員、事務局が柏崎市を訪問

- ・原子力・プルサーマルに対して、立場(推進および反対)を表明している5団体と個別に懇談

6月 3日 第4回コアメンバー会議開催

- ・柏崎市での開催に向けての取組み状況について
- ・平成13年度の活動について
- ・平成14年度における取組みについて

7月24日 「市民参加懇談会 in 東京」開催 於：四ツ谷 主婦会館

- ・日本のエネルギーの需要と供給はどうあったらいいか
- ・原子力発電は必要か、あるいは不要なのか
- ・原子力政策決定過程と市民のかかわり

9月 9日 第5回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」の開催結果について
- ・市民参加懇談会の今後の運営について

10月 9日 第6回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」の開催について

11月19日 「市民参加懇談会 in 東京」(第2回)開催 於：東京ウイメンズプラザ

- ・知りたい情報は、届いているのか

東京電力の不正記載を契機として

平成15年

1月21日 第7回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 東京」(第2回)の開催結果について
- ・次回の「市民参加懇談会」の開催について

2月28日 第8回コアメンバー会議開催

- ・「市民参加懇談会 in 青森」の開催について
- ・これまでの活動からの整理について

以 上